心理学・教育学委員会乳幼児発達保育分科会（第 25 期・第 1 回）

日時：2021 年 7 月 29 日 10:00～12：00
場所：オンライン開催
出席（50 音順）：浅井幸子　遠藤利彦　小玉重夫　小玉亮子　實藤和佳子
　　　　　　　　中坪史典　野澤祥子
欠席：大桃敏行　村上祐介

●資料の説明
・設置目的の説明
・今後は、医学、法学、その他、他領域の先生方に参画いただく必要があるかもしれない。

●任命拒否問題以降の方向性
・学術会議の議論を社会に開いていく。
・テーマを絞って議論をまとめて、社会に発信していく必要がある。
・心理学の方で分科会が多い。乱立している。第一部会で議論がされてきた。
・統合はせず、分科会同士が共同で取り組んでいくことが望ましい。
・分科会同士の連携、他の学術団体や学会、実践的な団体とも密に連携や協働を図りながら活動していくことが重要。
・本分科会では、排除・包摂と教育分科会との連携、子ども庁創設に関わる議論を進めていく。

●役員の決定
・委員長：浅井幸子
・副委員長：中坪史典
・幹事：實藤和佳子
　　　　野澤祥子
・世話人：遠藤利彦
　⇒承認

●排除・包摂と教育分科会との連携
・現在、幼児教育・保育の三元体制
・こども庁の議論
　一体化の議論は歓迎すべき
　ただし、どのように一体化が図られるかというのは非常に重要
　こども政策の総合化という点について議論し、国の動きを見ながら提言を行うことも必要

・シンポジウム
省庁ごとに進められていたことの横の連携
学校段階を超えた縦の連携・接続
本分科会では、横の連携を中心に、縦の接続についても保幼小接続について議論。
必要な研究のテーマは何か、どのようなエビデンスが必要とされているのかを議論して方向づけを行い、いずれ提言できるとよい

＜意見交換＞
＊浅井
・いろいろな動きが早い。
・検討と動きとどちらが早いかとも思うが、必要なことは議論していけるとよい
・5 歳児のプログラムをどう作るか？という点について考えられるとよい。
＊中坪
・5 歳児のプログラムは気にかけていた。
・子育て支援は社会的ニーズが高いが、保育者にしてみると難しさがある。こうしたことも検討できるとよいのではないか。
＊小玉亮子
・制度論を組み込んでいけるとよい。
・こども、5 歳というわかりやすいカテゴリーに切っていく、切断する議論になりやすいのではないかという懸念がある。
・流れを見失わないような提言ができれば。
＊小玉重夫
・高等教育、初等中等の下請け、準備としての乳幼児と考えられてきた。
・逆転させる動きも。「子どものための哲学」、レッジョ・エミリアのドキュメンテーション、既存の枠組みの転換。似たような動き。
・学術のレベルで乳幼児が変えていく。
＊實藤
・年齢で区切らない。
・教育、発達、保育が包括的に議論できるとよい。

●10 月 31 日シンポジウム
・流れの説明
⇒承認

●その他
・秋田喜代美（学習院大学教授）　特任連携会員の提案
⇒承認